



1/25
(火)

鷹巣小で畜産学習 命の大切さを実感

鷹巣小学校(田畠正英校長・194人)で1月25日、畜産業についての学習会がありました。

黒毛和牛を飼育、販売する宮路ファーム(宮路優作代表)の宮路めぐみさん(矢堂)を講師に招き、餌やりなどの動画視聴やクイズを通じて、児童たちは畜産について学びを深めました。

この日の給食には、地元で育った食材を子どもたちに食べてほしいと提供された約50⁺の黒毛和牛肉を使用したすき焼きが振る舞われました。

給食時には「育ててくれたかた、命をいただく

命に感謝しながら食べる1年生



ことに感謝して食べましょう」と校内放送があり、児童たちはいつも以上に感謝しながら食べていました。

1/25
(火)

川床小で親子木工体験教室 親子で協力しながら



息を合わせて製作する親子

1月25日、川床小学校(松永貢校長・112人)で親子木工体験教室がありました。

これは県が行っている「みんなの森づくり県民税事業」の一環で、森林について学び触れ合うことを目的としています。

同小5年生20人の児童と保護者を対象に、木材を使用した時計づくりに挑戦。親子で協力しながら思い思いの作品を作り上げていました。

栢元瑛志君は「木材を貼ったりするのが難しかったけど、お父さんと一緒に作れてとても楽しかった」と充実した様子でした。

1/26
(水)

平尾小でSDGs学習 みんなで達成しよう

1月26日、平尾小学校(宮ノ前香織校長・73人)の4年生12人がSDGs(持続可能な開発目標)について学びました。

児童らはSDGsの疑似体験ができるカードゲームに挑戦。講師に保護者でゲーム進行役の資格を持っている大迫香寿枝さん(犬鹿倉)を招き、少しずつ学びを深めました。

ゲームでは一人ひとりに目標が与えられ、児童たちは協力しながら目標達成を目指しました。

浦上柊哉君は「自分のことだけではなく、周りの

カードゲームに挑戦する児童たち



ことを考えてバランスよくするよう心掛けた。SDGsはみんなで協力して達成しないと行けないと思った」と話しました。